

令和8年度 道徳教育研究協議会

「道徳教育の推進について」

群馬県教育委員会事務局
義務教育課人権・キャリア教育推進係

1

道徳教育推進教師の役割について

- ・道徳教育の指導計画の作成に関すること
- ・全教育活動における道徳教育の推進、充実に関すること
- ・道徳科の充実と指導体制に関すること
- ・道徳用教材の整備・充実・活用に関すること
- ・道徳教育の情報提供や情報交換に関すること
- ・道徳科の授業公開など家庭や地域社会との連携に関すること
- ・道徳教育の研修の充実に関すること
- ・道徳教育における評価に関すること など
(学習指導要領 総則より)

3

道徳教育推進教師の役割について

学校においては、校長が道徳教育の方針を明確にし、指導力を発揮して、全教師が協力して道徳教育を展開するため、道徳教育の推進を主に担当する教師(道徳教育推進教師)を中心として、道徳教育の全体計画に基づく道徳科の年間指導計画を作成する必要がある。

道徳教育推進教師を中心とした指導体制を充実する

道徳科の指導を計画的に推進し、また、それぞれの授業を魅力的なものとして効果を上げるためには、校長の方針の下に学校の全教師が協力しながら取組を進めていくことが大切である。校長の方針を明確にし、道徳教育推進教師を中心に指導体制の充実を図るとともに、道徳科の授業への校長や教頭などの参加、他の教師との協力的指導、保護者や地域の人々の参加や協力などが得られるように工夫する。

小学校学習指導要領解説「特別の教科 道徳編」より

2

道徳教育推進教師の役割



4

令和8年度 学校教育の指針

豊かな人間性の育成
～エージェンシーを発揮するための土台となる人権教育・道徳教育～

人権教育
醸成された教職員の人権感覚を基に、組織的・計画的に常時指導の充実及び人権重要課題の解決に向けた取組の推進を図りましょう。

常時指導の充実
学校における人権教育は、全教育活動を通じて、常時指導を基盤とした構造的指導に留意して進める必要があります。

指導上のポイント
□一人一人の児童生徒を深く理解する
□尊重し合う人間関係を育てる
□教室・言語環境を整える
※「群馬県人権教育充実指針」参照

人権重要課題の解決に向けた取組の推進
・**同和問題**
社会科を中心とした教科等における同和問題に関する正しい理解と認識を深める学習を通じた差別意識の解消 ※①参照 ※②参照
・**インターネットによる人権侵害**
インターネットによる差別事案やインターネットの適切な利用を含む情報モラルに関する教育の推進 ※②参照
・**子どもたち**
いじめや児童虐待、ヤングケアラー等、子どもの人権に関する問題についての早期発見・早期対応
・**性的少数者の人々**
性少数者に関する理解の促進

道徳教育
全教育活動を通じた道徳教育を推進し、他者と共によりよく生きるための道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てましょう。

全教職員の共通理解に基づく、組織的で一貫した道徳教育の推進
□育てたい児童生徒像を踏まえた重点目標、重点内容項目に基づく、特色ある道徳教育の推進
□各教育活動等との関連を明確にした全体計画及び別葉の作成及び活用・見直し

「特別の教科 道徳」の充実
□道徳的な課題を自分との関わりで捉え、他者との交流の中で多様な価値観に触れながら納得解を得られる授業づくり
□自己の生き方についての考えを深める授業づくり ※「道徳教育パンフレット」参照
□道徳教育の要としての補充・深化・統合の役割の確認

5

令和8年度 学校教育の指針

全教育活動を通じた道徳教育を推進し、他者と共によりよく生きるための道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てましょう。

道徳教育
各教科 総合的な学習の時間
特別活動（児童会・生徒会活動・学級活動・学校行事）

特別の教科 道徳
(道徳科の授業) 35時間
補充・深化・統合

7

令和8年度 学校教育の指針

【道徳教育の目標】
道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の(人間としての)生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とすること。

【道徳教育と道徳科】
学校における道徳教育は、特別の教科である道徳(以下「道徳科」という。)を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、(外国語活動、)総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、生徒(児童)の発達の段階を考慮して、適切な指導を行うこと。

6

令和8年度 学校教育の指針

全教育活動を通じた道徳教育を推進し、他者と共によりよく生きるための道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てましょう。

全教職員の共通理解に基づく、組織的で一貫した道徳教育の推進
□育てたい児童生徒像を踏まえた重点目標、重点内容項目に基づく、特色ある道徳教育の推進
□各教育活動等との関連を明確にした全体計画及び別葉の作成及び活用・見直し

「特別の教科 道徳」の充実
□道徳的な課題を自分との関わりで捉え、他者との交流の中で多様な価値観に触れながら納得解を得られる授業づくり
□自己の生き方についての考えを深める授業づくり ※「道徳教育パンフレット」参照
□道徳教育の要としての補充・深化・統合の役割の確認

8

道徳教育の全体計画及び別葉の活用・見直し

全教職員の共通理解に基づく、組織的で一貫した道徳教育の推進
☐育てたい児童生徒像を踏まえた重点目標、重点内容項目に基づく、特色ある道徳教育の推進
☐各教育活動等との関連を明確にした全体計画及び別葉の作成及び活用・見直し

全体計画

学校の教育目標

道徳教育で目指す
児童生徒像は何か

道徳教育の重点目標

関連の深い
内容項目は何か

重点内容項目

特色ある道徳教育

教師間の
共通理解

評価
見直し

9

道徳教育の全体計画及び別葉の活用・見直し

【全体計画別葉の例】

笑顔であいさつができ、約束やきまりが守れる子

重点内容項目 (B 礼儀 C 規則の尊重)

内容項目	国語	算数	理科	学校行事	...
...					
礼儀	お願いやお礼の手紙を書こう			入学式 卒業式	
...			...		
規則の尊重	図書館へ行こう	折れ線グラフと数角の大きさ		運動会 校外学習	
...					
生命の尊さ	一つの花		生き物のくらし	人権集会 いじめ防止会議	

11

道徳教育の全体計画及び別葉の活用・見直し

学校の教育目標

【例】

心明るく

道徳教育の重点目標

笑顔であいさつができ、約束や
きまりが守れる子

重点内容項目

B 礼儀 C 規則の尊重

・1年間で複数回扱う、複数時間かけてより深く考えられるようにするなどの工夫
 ・道徳科で学習する時期（体験活動等との関連）、年計の配列の工夫
 ・関わりのある各教科の内容、行事の洗い出し 等

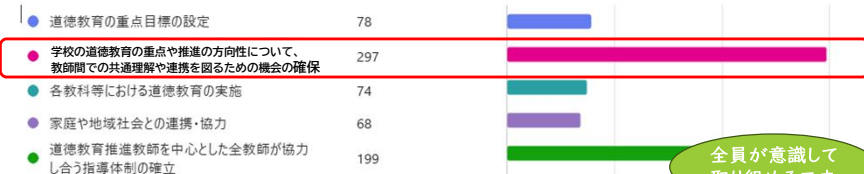
年間指導計画

別葉

10

道徳教育の全体計画及び別葉の活用・見直し

7. 道徳教育を推進する上での課題は何ですか。（複数回答可 3つまで選んでください）



【取組例】

共通理解を図るため、年度始めに重点目標、重点内容項目を全教員で確認する。
 別葉の重点内容項目に関する部分を充実させる。
 各種計画に気付いたことを書き込めるように、職員がすぐに見られる場所に置いておく。
 よりよい計画にできるよう、学期ごと、年度ごとに見直す。学年、部会で見直す。

12

「特別の教科 道徳」の充実

「特別の教科 道徳」の充実

- 道徳的な課題を自分との関わりで捉え、他者との交流の中で多様な価値観に触れながら納得解を得られる授業づくり
- 自己の生き方についての考えを深める授業づくり ※「道徳教育パンフレット」参照
- 道徳教育の要としての補充・深化・統合の役割の確認

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

13

「特別の教科 道徳」の充実

エージェンシーを発揮した子供の姿と授業づくりのポイント

各教科等の授業づくりのポイント

指導の意図を明確にし、多様な考えを引き出す中心発問と考えを深める補助発問を精選する。

15

「特別の教科 道徳」の充実

エージェンシーを発揮した子供の姿と授業づくりのポイント

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

特別の教科 道徳

- 道徳的価値を自分との関わりで捉え、広い視野から多面的・多角的に考え、よりよい生き方への思いや願いを深めている

各教科等の授業づくりのポイント

- ・指導の意図を明確にし、多様な考えを引き出す中心発問と考えを深める補助発問を精選する。
- ・道徳的価値についての多様な感じ方や考え方の交流を通して考えたことや気付いたことを基に、自己を見つめ直す振り返りの活動を設定する。

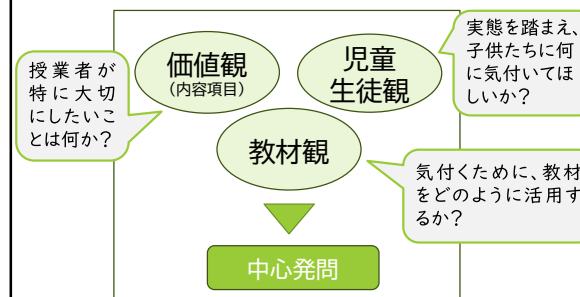
14

「特別の教科 道徳」の充実について

指導の意図を明確にする

年間指導計画で扱う内容項目を確認する。
指導要領解説を読み教師自身が内容項目について理解する。

指導の意図を明確にし、多様な考えを引き出す中心発問と考えを深める補助発問を精選する。



16

「特別の教科 道徳」の充実

例えば、「A 善悪の判断、自律、自由と責任」において

価値観

自ら正しいと信じているに従って、よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする意欲を高めたい。



本時で扱う内容項目について、授業者が特に大切にしたいことは何かを明らかにする。

児童生徒観

児童生徒の実態

よさ 善悪の判断と、よいと思うことを進んで行うことの大切さは理解してきている。
課題 周りの友達に左右され、よいと思うことを進んで行えないところがある。
実態から求められること 人に左右されずに、よいと思うことを進んで行おうとする意欲を高めたい。

授業者の価値観に関連するこれまでの実態と、実態から求められることなどを明らかにする。
「児童生徒のゴールの姿」

考えさせたいこと

よいと思うことを進んで行うことのよさや難しさ



17

「特別の教科 道徳」の充実

中心発問と補助発問の精選

改訂版「はじめよう！道徳科」5ページより

中心発問

○本時のねらいに迫るために多様な考えを引き出す。
○中心発問は教材の仕掛けを生かし、次のように考える。

教材

人物の道徳的実容の前

中心発問のありか

実容が起きた感動が呼び起こされた

人物の道徳的実容の後

例

◆「～のとき、○○はどんな気持ちだったのだろう」
◆「Aとの出会いには何に気付かせたのだろうか」
◆「なぜ、○○は涙を流したのだろうか」
◆「自分が○○の立場だったらどうだろう」

子どもたちの実容からたくさん考えを共有できるけれど、どうすれば考えが深まるのかな？

「意味」を問う

出来事、出会い、言葉、行動、物

中心発問

行為や言葉の裏にある「意味」や「心」を問う

例

◆「～のとき、○○はどんな気持ちだったのだろう」

◆「Aとの出会いには何に気付かせたのだろうか」

◆「なぜ、○○は涙を流したのだろうか」

◆「自分が○○の立場だったらどうだろう」

補助発問

○児童生徒の本音を引き出し、考えを深める。

例

- ◆ 考えの理由や根拠を明らかにする
「何でそう考えたの？」「それは、どういうことかな？」
- ◆ 考えをゆさぶる
「みんなはそう言うけど、本当にいいのかな？」
「この考え方で、こんな行動できるのかな？」「難しいのかな？」
- ◆ 別の視点から考える
「○○のような場合は、どんな気持ち？」
「反対の立場から考えるとどうなるのかな？」
- ◆ 複数の考えを比較して考える
「AとBで共通すること（考え方）はどんなことかな？」
「AとBでどちらの気持ちが強いだろうか？」

19

「特別の教科 道徳」の充実

考えさせたいことに基づき、教材をどのように活用するか構想する。



考えさせたいこと

よいと思うことを進んで行うことのよさや難しさ

教材観

教材「ほく、よびにいく」

よいと思うことを進んで行うことのよさを自分との関わりで考えさせるために、ぼんすけの行動の理由について考えさせたい。

【あらすじ】

主人公のぼんすけたちがサッカーをしているところへぼんたがやってくるが、数が半端になってしまうため、ぼんきちにかけられるよう指示される。ぼんたは気付かずに去ってしまうが、ぼんすけはぼんたのことが気になる。ぼんすけはぼんきちににらまれながらも、思い切って「ほく、よびにいく。」と言って走り出す。

よいと思うことを進んで行うことのよさを感じたときの気持ちを想像させたい

中心発問

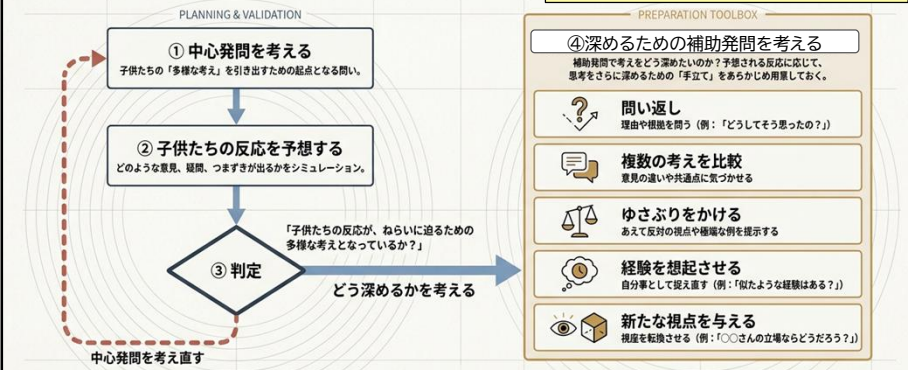
ぼんすけは、どんなことを考えて、「ほく、よびにいく。」と言って走り出したのでしょうか。



18

「特別の教科 道徳」の充実について

指導の意図を明確にし、多様な考えを引き出す中心発問と考えを深める補助発問を精選する。



発問の引き出しを多く準備する

実際の授業では予想外の反応も起こるため、子どもたちのその場での反応に合わせて柔軟にアプローチを使い分けられるよう、事前に多様な発問のストックを持つておくことが大切。

20

「特別の教科 道徳」の充実

法やきまりを守ることが大切なのはなぜだろう。

中心発問

補助発問

3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。(20分) 【★共有】

○「はれはれとした顔で職場を去る元さんは、どのようなことを考えていたのでしょうか。」

S: 来客者の安全を守るために規則があるという意識が低かった。姉弟や僕に何事もなくよかった。

S: 姉弟を危険な目に遭わせたかもしれない。園にも迷惑をかけた。けじめをつけよう。

S: いずれにしても、規則を守ることの大切さに改めて気付くことができてよかった。

◇「姉弟や母親に感謝されているのだから、自分から辞める必要はなかったのではないですか。」

S: これを教訓にして、仕事を続けることもできるかな。

S: 停職処分では自分の中で納得できず、規則を破ったことをもっと重く受け止めているのかな。

S: なるほど、自分が辞めることで、規則を大切にすること、より安全な園になると思っていたのかな。

○元さんの葛藤する気持ちを考えられるように、自分が元さんの立場だったらどうするか（入れる・入れない）を一覧表示し、その理由を問ひかける。

○規則に対する多様な考え方を知り、自己の考えを広げられるように、グループで各自の考えの共通点や相違点を話し合うよう促す。

○元さんの思いから規則の意義について多面的・多角的な見方や考え方ができるように、生徒の考えを「規則の大切さ」、「姉弟や母親、動物園で働く人達への思い」、「元さんの立場」等、視点ごとに整理して板書する。

○「後者は…」では、価値を深くとをよ

○法やきまりの意義や守ることの大切さについて深められるように、法やきまりがあることで何が守られているのかを問ひかける。

基本発問

生徒の考えに
ゆさぶりをかける

21

「特別の教科 道徳」の充実

エージェンシーを発揮した子供の姿と授業づくりのポイント

各教科等の授業づくりのポイント

道徳的価値についての多様な感じ方や考え方の交流を通して考えたことや気付いたことを基に、自己を見つめ直す振り返りの活動を設定する。

23

「特別の教科 道徳」の充実

働くことの意義は何なのだろう。

中心発問

補助発問

2 教科書の教材文の範読を聞く。(5分)

教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。(20分) 【★共同編集】

○「将来あなたが、社会の一員として働くとき、大切にしたい思いはどんなことですか。」

S: 様々な要望に応えて、きちんと仕事をする中でお金を得ること。

S: 人や生活のため、役に立つことを見つけて、それを継続していくこと。

◇「職場体験で関わった人たちは、どんな思いで仕事に取り組んでいたのだろう。」

S: 収入を得ることだけでなく、利用する人たちのことを考えていたな。

S: 利用する人たちの視点に立って仕事をしていた。

○教材の理解を深めながら範読を聞くことができるように、災害時の避難所の様子や写真を提示し、教材の概要を事前に伝え、状況や立場などしながら範読を聞くよう促す。【★提示】

○働くことの意義について、様々な視点から考えることができるように、自分が会社員としての立場だったらどうするか（無償で設計図を公開することに賛成か・反対か、またそう考えた理由）を問ひかける。

○自分の考えをより確かなものにできるように、思考ツールを活用し、導入時の3つの視点（経済性・個性・社会性）に着目するように促す。

○生徒同士の意見交流を行う際には、他者の考えを参考にしながら、意見上の共通点・相違点について話し合うよう促す。

基本発問

別の視点から
考える

22

「特別の教科 道徳」の充実

多様な感じ方や考え方の交流

ICTを活用して多様な考えに触れる

目録教材を通して道徳的価値についての考えをもち、交流する。

あなたが主人公だったら「ちがう」と言える？

言いたいけど言えないな。みんなはどうなのかな。

立場によって色分けしたテキストを選び、見出す。

全員の前で発表し、多様な考えに触れる。

全体やグループで話し合う。

何もできなかった自分がはざかしい。

みんなの前で発言して友達を助けよう。

- ・グループでの話し合いを、子どもたちの意見共有から、議論へ発展させる。（理由を述べる、質問する、違いを考える、共通点を考える・・・）
- ・全体での話し合いは、教師がファシリテーターとなり、問い返したり、児童生徒同士の意見をつないだりする。（どうしてそう考えるの？ ◇◇という考えもあるみたいだけどどう思う？ ○○さんの意見についてどう思う？）

もう一度めあてについて考え、納得解をもつ。

24

